

## 「左心耳閉鎖術前後における画像支援と有用性の検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2025年5月20日から2025年12月31日までを予定しています。

### 【研究の意義・目的】

心房細動によってできる心内血栓の約9割が左心耳にできると言われています。これまでは心原性脳梗塞の予防のため、左心耳の外科的切除や、クリップを使用し、閉鎖する手術が行われてきました。

近年、カテーテルを用いた低侵襲な治療が可能となり、その治療前後の評価には経食道エコーが主に使用されてきました。しかし、COVID-19の流行により経食道エコーに代わり、CTによる評価が注目されています。

本研究は左心耳閉鎖術前後におけるCT画像支援とその有用性を検討することを目的としています。

### 【研究の対象】

小倉記念病院において2019年4月1日から2025年3月31日の間に、左心耳閉鎖術を施行した患者さんを対象としています。

### 【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、年齢、性別、身長、体重、既往歴、術前の左心耳計測値、術後血栓の有無などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、小倉記念病院病院長の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

### 【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為に行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としませんのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 放射線技師部 担当者 水本 峻介  
〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号  
電話 093-511-2000（代）